

初秋の候、皆様におかれましては、ご健康でご活躍のこととお喜び申し上げます

今年度の見学会は、神戸大学海事科学部海事博物館見学（希望者）及び附属練習船「深江丸」に乗船しての港湾施設の見学、明石海峡大橋までクルージング後、船の通信設備についての説明とご講演と盛りだくさんの内容となっております。またとない機会ですので、皆様ふるってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。今回は会員様限定で事前申込（9月20日締切）と参加料1000円（含保険料）が必要となっておりますので、ご留意ください。

☆10月の見学会

2006年10月5日(木) 神戸大学海事科学部

- 12:00～12:35 海事博物館見学（自由参加）
- 12:45 深江丸係留岸壁集合・記念撮影
- 13:00～17:00 深江丸クルージング・講演
- 17:30～19:00 懇親会（深江丸学生ホール）



深江丸（Ⅲ世）
＜総トン数449トン＞



第162回 AC・Net 例会（10月5日） 見学会のご案内

<<概 要>>

わが国は四方を海に囲まれている「海国日本」であるにも拘らずつい忘れていることが多い。神戸といえば「港」そして「海」、地元神戸大学海事科学部（元神戸商船大学）の所有する博物館の収蔵品を見学して知識を広め、さらに練習船に乗船し大阪湾を航海しながら、船の各部、操船模様などを体験する。また洋上にて「船の通信機能と設備」の講義を受ける。

1. 日 時 : 平成18年10月5日(木) 12時00分～19時00分

2. 見学場所: 神戸大学海事科学部海事博物館（自由参加）
神戸大学海事科学部附属練習船深江丸
〒658-0022 神戸市東灘区深江南5丁目1番1号

3. スケジュール

12:00～12:35 海事博物館見学（希望者）；全員早めの昼食を済ませて集合
（酔い止め薬は船にあり。）

12:45 深江丸係留岸壁集合・記念撮影

13:00 海事科学部出港

13:00～13:30 オリエンテーション・出港操船・港湾施設見学
（六甲アイランド南側水路通過）

13:40～14:45 船橋・機関当直体験

A

B

13:40～14:10 船橋当直体験 機関当直体験

14:15～14:45 機関当直体験 船橋当直体験

14:45～15:20 明石海峡見学

15:30～16:40 講演 若林 伸和氏 深江丸通信長（助教授）

荻野 市也氏 古野電気（株）舶機営業企画部課長

16:50頃 入港部署

17:10頃 海事科学部着

17:30～19:00 懇親会（深江丸学生ホール）；片付けは補助学生
終了後、解散

【講師】 若林 伸和 氏

神戸大学海事科学部 海洋情報科学講座 助教授
練習船深江丸通信長

【演題】 「海上における遭難通信システム

～ SOS（無線電信）から GMDSS（衛星・デジタル通信）へ ～」

【概要】

船は航行中、陸上との間、または船同士で情報交換を行うには困難をとまなう。それは、海上を自由に走る船との間に線を引きることができないからである。すなわち、有線通信は不可能であり、手段は無線に限られる。

船舶に無線電信装置が設置されて100年余。現在でも、船から陸上の一般加入電話と通話することさえ容易ではなく、携帯電話も沿岸から十数キロも離れれば圏外となり用をなさない。

このような海上という特殊な環境における通信技術の変遷を、とくに遭難通信にしばって概説する。

【講師】 荻野 市也 氏

古野電気株式会社
舶機営業企画部 課長

【演題】 「船舶における通信の現状と将来」

【概要】

船舶の通信は航海機器間のデータ通信、船舶での情報環境を実現する船内LANなどの船内での通信、緊急連絡などの陸上、船舶間の通信、航海に必要な自船位置を計算する衛星から信号受信など船外との通信があります。

今回は、安全航海に寄与する航海機器を提供するメーカーの立場から、船舶における通信の現状と将来の動向についてお話いたします。

5. 交通

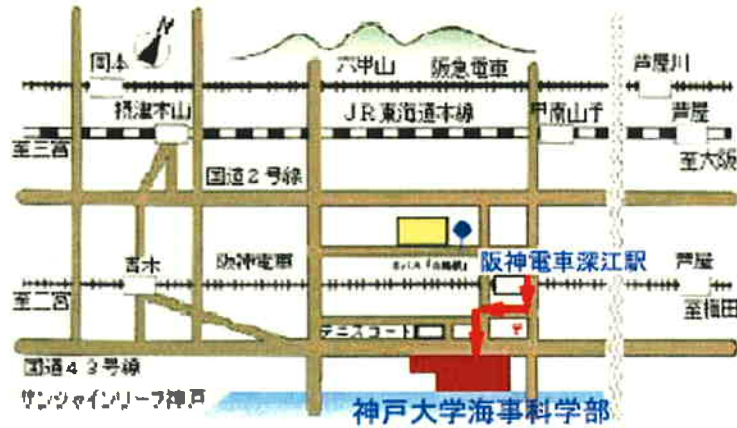
■阪神電車（時刻表検索 <http://rail.hanshin.co.jp/time/> で時刻が調べられます）

大阪方面から

梅田 → 特急 約20分 → 芦屋 → 普通 約2分 → 深江 —— 東門まで徒歩5分

三宮方面から

三宮 → 特急 約10分 → 魚崎 → 普通 約5分 → 深江 —— 東門まで徒歩5分



キャンパス案内（深江地区）



41：東門

を入り、つきあたりを左へ、つぎのつきあたりを右へ歩くとグラウンドの向こうに係留中の深江丸が見えてきます。グラウンドの横を浜側へ歩き、右へ曲がって防潮堤の門を通過して28：深江丸係留岸壁 までお越しください。

40：正門

から入った場合は、つきあたりを左へ、6階建ての大きなビルの手前を右に折れ海側へ歩いていくと、グラウンド越しに係留中の深江丸が見えてきます。防潮堤の門を通過して、係船池内に入り 28：係留岸壁 までお越しください。

深江丸乗船にあたり

深江丸の乗船にあたり下記の点に留意いただくとともに、乗船中は船内生活の心得に示すとおり、秩序ある船内生活と参加者全員の協力により楽しい航海を目指しましょう。

なお、季節柄、気象・海象等の状況では運航予定を変更する場合がありますをお含みおきください。

<乗船前の準備>

- ◎ 服装：深江丸乗船中は活動しやすい服装で普段使用している帽子と名札を着用してください。とくに袖口やズボンの裾がひらいているもの、飾りのベルト等が出ているものなどは、機関室見学等の際に回転部に巻き込まれるなど危険な場合がありますので避けてください。
船内を一律均等に空調できませんので、防寒着他、必要な衣類を準備してください。（緊急時にも使用できるもの）
- ◎ 靴：スリッパやサンダル、ハイヒール靴等での乗船は許可しません。船体動揺時でも動きやすく、底が滑りにくい、ごく普通の清潔な靴（運動靴等）を着用してください。
居室からシャワー室を利用する際のみスリッパ等を使用してもかまいません。
- ◎ 携行品：筆記具等研修に必要なもの（研修等の場合）、研究に必要な機器類等（利用可能なPC等は船内には用意がありません。データ整理等は各自でPCを用意してください）、持病のある方は必要な専用の医薬品、洗面用具、タオル、他個人で必要なもの、船内では洗濯不可につき、日数分の必要な下着の替え、および上陸の際の服等。
船内に自販機はありません。飲料（缶・PET ボトル等）やおやつ等の嗜好品が必要な場合は各自で用意して持ち込んでください（研究航海等長期の場合）。
- ◎ 持込み禁止：ゲームその他の船内共同生活を阻害するおそれのあるもの、人や船に危害を加えるおそれのある刃物、爆発物、その他の危険物の持ち込みを禁じます。
- ◎ その他：航海参加にあたり事前の体調を十分に整えておいてください。前日、十分睡眠をとるなど、留意してください。
貴重品や金銭は各自で責任を持って保管・管理していただきます。また、不要なものはできるだけ持ち込まないようにしてください。

緊急時の深江丸の船舶電話番号〈衛星経由〉
090-3022-4020（緊急受信及び公用）

↑ 日本沿岸海域で航行中も常時着信可（衛星船舶電話）

なお、大阪湾、瀬戸内海などでは、携帯電話が通じる海域も多くあります。携帯電話の使用は、後部甲板、ファンネルデッキ等、他の乗船者の迷惑にならない場所をお願いします。

船内生活の心得

神戸商船大学（当時）は、平成13年3月27日、「附属練習船“深江丸”の船舶管理」において、国の機関としては初めて“品質マネジメントシステム規格”「ISO9002:1994 JIS Z 9902:1998」を、さらに、平成15年6月23日には「ISO9001:2000 JIS Q 9001:2000」を日本海事協会から認証されました。

＜学生ホール右舷側壁に認証（写し）を掲示＞

ISO9001 の運用のための安全管理システム；SMS (Safety Management System) において、

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 海上における人命の安全 | 2. 船舶の安全運航 |
| 3. 海洋環境の保護 | 4. 実習・教育・研究の円滑な遂行 |

に係る各種の規定を遵守しながら徹底した運航を行っています。

船内では以下の点にご留意ください。また、乗船中、船内設備や船内生活面等についての質問は、遠慮なく乗組員、運航要員までお尋ねください。

＜船内生活の心得＞

1. 緊急時の対応
 - ・緊急非常時の集合場所は航海船橋後部の **救命いかだ設置場所** 付近とします。乗船後、個々の救命胴衣の保管場所、救命いかだの配置及び緊急時の脱出経路等を必ず確認してください。
 - ・乗船中は緊急時の船内放送に常に注意し、不測の事態が発生した場合は船長及び乗組員の指示に従い、あわてずに、冷静に行動してください。
 - ・航海中、万一異常な事態が発生した場合は直ちに大声で船橋まで通報してください。
2. 喫煙は学生ホールの許可された区画及び後部甲板のたばこ盆のある場所のみで許可します。サロン・メスルームを除き、機関区画を含むすべての場所では火災予防のために一切の火気の使用を禁止します。
3. 船内では船橋にある航海計器等の許可された一部のスイッチ類を除き、機関室他、船内各所にあるスイッチ類には絶対に手を触れないでください。（空調設備関連を含む）
 - ＜遠隔操作により燃料の遮断、ポンプ停止、舵停止、主機関等が緊急停止します。＞
 - ・機関室への立ち入りを原則禁止とします。体験当直等の際は、機関士の指示に従ってください。
4. 清水は船では貴重品です。船底の水タンクに保有する清水には限りがあります。船の動揺を極力抑える上からも節水を心がけましょう。
5. 学生ホールは参加者全員のための多目的ルームです。不用意に横になったり、専有したりしないでください。横になる場合は居室のボンク（ベッド）を使用してください（日帰り航海の場合を除く）。
6. 船内行動
 - ・船内では個々に準備した名札を常時見やすい箇所に表示してください。
 - ・靴はきちんとはいてください。かかとをふまないでください。（靴下着用）
 - ・船内通路や階段等では静かに行動してください。
 - ・海中転落防止のため、船の外回りにある手すりに寄りかからないでください。手すりを手でつかんで姿勢を保持、または手すりから離れて行動してください。
 - ・暴露甲板上では常に風下（ふうか；かざしも）側を行動してください。
 - ・船の外回りにある甲板に出入りするときはハッチ・コーミングをまたいでください。
 - ・ドアの開閉は最後までノブをもって確実にしめてください。（ドア・チェッカー強し）
 - ・船内の通路や暴露甲板上では走らないでください。飛び跳ねないでください。
 - ・附属設備の上や椅子のある場所以外で座り込んだり、しゃがみこんだりしないでください。
7. 船内発生ゴミはすべて仕分けして持ち帰ります。不要物の海中投棄を厳禁します。
8. 船内では24時間体制で様々な人が色々な目的で起居し行動しています。お互いに思いやりと節度、一般良識をもって行動し、ひとりひとりが楽しい船内生活と円滑・円満な共同生活を心がけましょう。

《 迷惑はかけられても、人に迷惑をかけない姿勢を、常にもちましよう！ 》

宛先：情報通信技術研究交流会（AC・Net）事務局
（E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp ・ FAX: 078-969-2119 ）

10月5日（木）第162回例会（見学会）参加申込み

（今回は会員様限定で事前申込となります。申し込み期限：9月20日まで）

2006年 月 日

神戸大学海事科学部 海事博物館・深江丸の見学を下記の通り申し込みます。

	ご参加のところに○をご記入ください。	博物館 12:00～	深江丸 12:45～	懇親会 17:30～
ご氏名				
ご所属				
生年月日	19 年 月 日	（乗船時の満年齢：		才）
自宅住所				
自宅電話番号				

※乗船名簿の他、傷害保険に加入しますので、生年月日・自宅住所・自宅電話番号も必ずご記入ください。参加費（保険料を含む）1000円は当日会場にて徴収します。（釣り銭の無いようご用意下さい。）尚、加入申込日（9月20日）後は、当日欠席の場合も請求させていただきます。

・その他事務局への連絡事項

・今後の講演でご希望（講師・テーマ）等があればお書き下さい